

2024 年度事業報告書

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 心澄

2024 年度も継続して指定支援機関として活動を継続することができ、長崎県子ども若者総合相談センター(以下ゆめおす)、社会的養護自立支援拠点事業、就労継続支援B型しんじょう(以下 B 型)、共同生活援助シェアホームおえん(以下おえん)、長崎地域若者サポートステーション(以下長崎サポステ)、佐世保若者サポートステーション(以下佐世保サポステ)などの事業を主軸に展開しました。新規事業はなかったものの従来通り、不登校・ひきこもり・若年無業者・ケアリーバー・LGBTQ の方々への支援を専門的に行える体制が整っている。

更に心澄としての新規事業はないが 2025 年 1 月に発足した当事者団体「from1 運営の会」立ち上げに携わり、浜町の from1 を当事者団体に委託できたことは、大きな取り組みであったと感じている。

その結果、長崎での悩む子どもや若者たちに対しての、入り口から出口までの一貫した支援体制が強化され、集団に入ることに抵抗感を感じるものや、相談意欲が高くはない若者のキャッチ力が高まり、私たちのミッションにまた一歩近づくことができました。

どのような方も断らないという方針がゆえに、支援が上手くいかない方々を傷つけてしまうという反省点も残るが、支援の質を上げるだけでは解決できず、長崎において心澄以外の若い団体などの社会資源を育てていく必要があると感じているが、課題はまだ改善できておらず、長崎にどのように投資していく必要があるのかについて、可視化が必要だと感じている。

## 2. 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数(件数)	事業費の金額(千円)
訪問相談事業	・訪問 ひきこもり当事者及びその家族を対象にした個別の相談及び訪問支援	通年	長崎市と近郊の市町	6名	長崎市とその近郊の市町に住む、ひきこもり当事者及びその家族利用者延 104名	570千円
自立支援事業	・居場所 ・清掃ボランティア ・七色クローバー ・人形劇団しんじょう ひきこもり当事者等を対象にコミュニケーショントレーニング	週1回	事務所他 長崎市近隣	5名	長崎市とその近郊の市町に住む、ひきこもり当事者等利用者延 457名	147,352千円
	・家族会 家族に対し、情報交換や	月1回	事務所他 長崎市近隣	3名	長崎市とその近郊の市町に住む、ひきこもり当	

	交流の場の提供				事者及びその家族 利用者延 38名	
	・就労体験 就労を目指している者に対して、イメージ作り等のために職場体験を行う	通年	事務所他 長崎市近隣	2名	長崎市とその近郊の市町に住む、ひきこもり当事者等 利用者延 60名 協力企業 約100社	
	・心澄団らん 就労後に再孤立化しないために、夕ご飯を共にする時間を提供	通年	事務所	5名	長崎市とその近郊の市町に住む、ひきこもり当事者等 利用者延 62名	
	・来談 心澄事務所に来て、自由に過ごす。また、希望により各種活動に参加	通年	事務所他 長崎市近隣	5名	長崎市とその近郊の市町に住む、ひきこもり当事者等 利用者延 705名	
	・相談事業 (長崎県子ども・若者総合相談センター事業)	通年	事務所他 長崎県内	5名	長崎県域 延相談件数 8,244件	
	・相談事業 (地域若者サポートステーション及びそれに付帯する事業)	通年	長崎県全域	37名 ゆめおす 兼務除く	長崎県域 延相談件数 16,380件	
	・相談事業 (五島市氷河期世代支援事業)	通年	五島市	3名	五島市内 就職氷河期世代の方	
	・相談事業 (社会的養護自立支援拠点事業(アフター))	通年	長崎県	4名	長崎県域 延相談件数 1,840件 児童養護施設や里親を利用した方等	
	・校内居場所カフェ 近郊の通信制高校にて、不登校や退学予防のための学内アウトリーチ (連合長崎助成事業)	通年	こころ未来 高等学校	4名	こころ未来高等学校 在校生 利用者延 463名	
	・浜の町カフェ	通年	長崎市浜町	任意団体による運営	利用者延 780名	
ひきこもりに関する周知セミナー等事業	・外部講演等	通年	長崎県内	2名	長崎県域 聴講者数延 5,443名	311 千円
	・定時制・通信制高校等合同説明会	2024.10.5	長崎県庁	スタッフ 10名 ボランティア	長崎県域 来場者計 292名	

				約 30 名		
障 害 者 総 合 支 援 法 に 基 づ く 障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業 ( 就 労 継 続 支 援 B 型 )	・就労継続支援 B 型 しんじょう 現時点で一般就労が難 しい障碍を持つ方々に就 労の機会を提供するとと もに、その能力の向上に 必要な訓練等を行う。	通年	事務所他 長崎県内	7 名	長崎県内在住の障碍 者 利用者延べ 6,507 名	35,182 千円
障 害 者 総 合 支 援 法 に 基 づ く 障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業 ( 共 同 生 活 援 助 )	・GH 18 歳以降の虐待の影響 下にある者を主な対象と して実施し、死なない生 き方と、生き方の獲得を 目指す。	通年	お え ん (GH) 事務所他 長崎県内	4 名	長崎県内在住の障碍 者 入居者 7 名 (3 月 31 日時点) 延利用者数 2,520 名	20,195 千円

## (2)前年度比

		2020	2021	2022	2023	2024	前年比	
事業・活動内容	訪 問	187	112	165	110	104	95%	
	居 場 所	104	180	78	145	164	113%	
	家 族 会	60	54	44	33	38	115%	
	人 形 劇	461	475	68	117	184	157%	
	清掃ボランティア	20	100	75	65	36	55%	
	七色クローバー	72	124	79	92	73	79%	
	就労体験	-	-	51	43	60	140%	
	来 談	780	1152	727	1113	705	63%	
	心澄団らん	89	100	60	51	62	122%	
	外部講演等	-	3585	8560	6127	5443	89%	
	そ の 他	37	-	19	11	58	527%	
	校内居場所カフェ	150	171	281	432	463	107%	
	浜町カフェ	-	-	-	69	852	1234%	
	相談事業	ゆめおす	6,784	6,786	6,551	6,750	8,244	122%
		サポステ(長崎・五島・佐世保)	9,472	13,003	12,836	13,570	16,380	121%
		アフターケア事業	-	-	-	99	1,840	1,859%
	障害分野	B 型	4,201	6,022	6,187	6,082	6,507	107%
お え ん		556	2,851	3,477	2,498	2,520	101%	
総 計		22,973	34,715	39,258	37,407	43,661	117%	

※就労体験はサポステ事業として実施している分を記載。